

日本大学 桜樹会会報

第 17 号

昭和55年 8 月

日本大学 桜樹会

目 次

競技会成績 I (体操部)	2
" II (桜樹会)	5
昭和54年度 会員総会議事録	6
" 決算報告	8
" 会費納入者一覧	9
" 事業及び行事報告	12
昭和55年度 桜樹会予算	13
" 体操部役員	14
" 体操部新入部員	14
" 体操部年間予定	14
桜樹会員一種審判員取得者名簿	15
会員名簿 訂正・追加	16
日本体操界を考えると.....人見省吾	24
モスクワオリンピックに参加して..... "	26
編 集 後 記	28

競技会成績 I. (体操部)

第 10 回 T B S 杯国際招待

54.4.14 ~ 15 (大分)

男子個人総合

4位 山脇恭二

種目別

ゆか 3位 山脇恭二
あん馬 2位 山脇恭二
つり輪 1位 山脇恭二
平行棒 1位 山脇恭二

第 13 回 東日本学生選手権

54.5.26 ~ 27 (秋田)

男子団体総合

優勝 269.90

女子団体総合

5位 175.05

個人総合

種目別

2位 山脇恭二
5位 平田倫敏

ゆか 3位 片山みちる

種目別

ゆか 1位 山脇恭二
5位 早瀬幸博
あん馬 3位 山脇恭二
つり輪 1位 山脇恭二
5位 平田倫敏
跳馬 1位 山脇恭二
3位 平田倫敏
鉄棒 1位 松永二郎
2位 平田倫敏
5位 山脇恭二
" 関信之

第 33 回 全日本学生選手権

54. 7. 4 ~ 8 (駒沢)

男子団体総合	優勝	538.50	女子団体総合	6位	348.55
個人総合			個人総合		
	2位	山脇 恭二	17位	西沢 真理子	
	7位	国井 信行			
	10位	関 信之			

種目別

ゆか	1位	山脇 恭二
あん馬	3位	山脇 恭二
つり輪	1位	山脇 恭二
平行棒	4位	山脇 恭二
	5位	関 信之
鉄棒	5位	関 信之
	6位	国井 信行

第 33 回 全日本選手権

54. 10. 24 ~ 28 (八王子)

男子団体総合	6位	534.85
個人総合		
	20位	平田 倫敏

種目別

跳馬	7位	鹿野 久
平行棒	8位	平田 倫敏
鉄棒	7位	国井 信行

関東学生新人戦

54. 11. 12 ~ 13 (大田区)

男子団体総合	2位	257.45
個人総合		
	1位	田場 睦信

種目別

ゆか	3位	田場 睦 信
	6位	及川 剛
あん馬	1位	小林 一彦
	4位	田場 睦彦
つり輪	4位	田場 睦彦
跳馬	3位	伊藤 鈴夫
平行棒	6位	田場 睦彦
	"	森 元潤 一
鉄棒	3位	伊藤 鈴夫
	5位	武田 貞二

モスクワ 2次予選

55. 3. 19 ~ 22 (代々木第二)

1位	山脇 恭二
14位	平田 倫敏

ユニバーシアード大会

54. 9. 3 ~ 6 (メキシコ)

個人総合	4位	山脇 恭二
種目別		
跳馬	1位	山脇 恭二

第14回 東日本学生選手権

55. 6. 14 ~ 15 (駒沢)

男子団体総合	4位	266.20
個人総合		
	6位	峯田 孝幸
種目別		
平行棒	3位	峯田 孝幸
鉄棒	1位	早瀬 幸博

競技会成績Ⅱ. (桜樹会)

第33回 全日本選手権

54. 10. 24 ~ 28 (八王子)

男子個人総合

- 1位 錦井利臣 (河合楽器)
- 2位 梶山広司 (日大桜樹)
- 10位 金居俊郎 (大和銀行)
- 12位 慶田盛定 (河合楽器)

種目別

- ゆか 1位 千田修平 (河合楽器)
- 3位 慶田盛定 (")
- 4位 錦井利臣 (")
- つり輪 1位 錦井利臣 (")
- 平行棒 4位 錦井利臣 (")
- 鉄棒 7位 錦井利臣 (")

モスクワ二次予選

55. 3. 19 ~ 22 (代々木第二)

- 2位 梶山広司 (日大桜樹)
- 7位 金居俊郎 (大和銀行)
- 8位 錦井利臣 (河合楽器)
- 13位 慶田盛定 (")
- 20位 松本俊一 (大和銀行)

NHK杯兼モスクワ最終予選会

55. 5. 2 ~ 4 (福井)

- 1位 山脇恭二 (大和銀行)
- 2位 梶山広司 (日大桜樹)
- 8位 錦井利臣 (河合楽器)
- 9位 金居俊郎 (大和銀行)
- 12位 平田倫敏 (")

昭和54年度 会員総会議事録

日時 昭和54年11月18日 午後3時30分より

場所 日本体育協会

<出席者>

- ① 石井征也, 稲橋恒行
- ② 平川文雄, 堀田淳二
- ④ 池田智美, 上野 剛, 菊地君男, 木村多喜
- ⑤ 小松武雄
- ⑦ 岩沢 稔
- ⑨ 朝倉徳雄
- ⑩ 津村二郎, 箱根 修
- ⑪ 原 弘吉, 山本好隆
- ⑮ 谷田部光則
- ⑯ 杉村久子
- ⑰ 前山真一郎
- ⑲ 中村秀二
- ⑳ 渡辺嘉三

以上 20名

<委任状>

120名

◎ 報告事項

1. 事業および行事報告

菊地総務より別掲の通り報告があった。

2. 会計報告

菊地総務より昭和54年10月末日までの中間会計報告があった。

(注. 本誌掲載の決算報告は昭和55年3月31日を以って報告したものである)

3. その他

稲橋会長より, 社会人大会および全日本選手権大会等の結果報告があった。

◎ 協議事項

1. 会則改正について

- 会計監査は総会で選出した方がよいとの意見が出され, 協議の結果, 第7条を次の通り改訂することに決定した。

第7条 会長・副会長及び会計監査は会員総会でこれを選挙する。

幹事長・幹事及び総務は会長これを指名する。

- 第1回卒業生が卒業後20年を迎えたため, 内規第1条会費額について討議。その結果次の通り決定した。

内規第1条 二. 卒業後15年以上の会員

5,000円(20年未満の条文削除)

2. 役員改選について

- 選挙の結果次の通り決定した。

会長 稲橋恒行(留任)

副会長 石井征也, 堀田淳二(留任)

会計監査 小栗郁郎, 前山真一郎

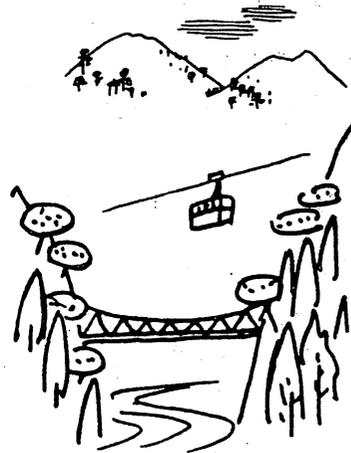
3. その他

- 桜樹会創立20周年記念行事について提案があり協議の結果, 新幹事会で検討することに決定した。

- 昭和54年桜樹会忘年会について稲橋会長より説明があった。 以上

※総会終了後、会場を近くの「南国酒家原宿店」に移して、懇親会が開催された。これは、体操部男子インカレ優勝の祝勝会も兼ねて行なわれたもので、会場では招待された現役18名を交えて、などやかな歓談が続いた。会員出席者は次の通りである。石井征也、稲橋恒行、平川文雄、堀田淳二、金子正史、池田智美、上野 剛、菊地君男

高田信興、早田卓次、小栗郁郎、岩沢 稔、海谷美代子、山本光子、岩田 惇、朝倉徳雄、林 昌幸、津村二郎、箱根 修、原 弘吉、山本好隆、外山宜男、谷田部光則、錦井利臣、梶山広司、中島節子、前山真一郎、朝倉和幸、小林敏彦、中村秀二、渡辺嘉三、小松武雄、木村多喜、松本俊一、黒崎淑行、金居俊郎、錦井房美、山中勝男 以上39名



昭和54年度 決算 報告

総務 菊地君男
鶴見興人

収入の部

項目	予算	決算	備考
繰越金	350,085	350,085	
会費	550,000	651,000	{ 過年度分 58,000 本年度分 575,000 次年度分 18,000
寄付金	50,000	10,000	
雑収入	0	52,196	
合計	950,085	1,063,281	懇親会余剰金, 預金利子等

支出の部

項目	予算	決算	備考
事業費	350,000	362,400	会員名簿, 会報第16号印刷代, 選手派遣費等
補助費	150,000	87,918	インカレ祝勝会補助等
会議費	50,000	28,760	体協室代等
通信・印刷費	150,000	118,540	会報, 名簿送料, 各種通知印刷, 送料等
事務費	10,000	12,320	封筒, 原稿用紙代, ゴム印代等
雑費	10,000	6,120	口座手数料
予備費	230,085	30,000	慶弔・見舞金等
繰越金	0	417,223	
合計	950,085	1,063,281	

昭和54年度 会 費 納 入 一 覧

総額 651,000円 (決算報告参照)

領収証
№

№	月日	氏名	金額	№	月日	氏名	金額
1.	54. 4.18	磯部 忠通	4,000	28.	54. 6.14	石井 征也	5,000
2.	5.11	朝倉 徳雄	4,000	29.	"	宮本 敏子	2,000
3.	"	稲橋 恒行	5,000	30.	"	小栗 郁郎	9,000
4.	"	朝比奈 昭夫	2,000	31.	"	早川 尚夫	10,000
5.	"	伊藤 昭代	2,000	32.	6.29	里中 昌子	3,000
6.	"	内田 俊子	2,000	33.	7. 9	久保田 一行	2,000
7.	"	宇ツ木 久美子	2,000	34.	"	前山 真一郎	2,000
8.	"	岡崎 高典	2,000	35.	"	海谷 美代子	4,000
9.	"	加藤 博章	2,000	36.	"	千葉 勉	2,000
10.	"	慶田盛 定	2,000	37.	"	山田 隆士	3,000
11.	"	小口 盛	2,000	38.	"	近藤 明	4,000
12.	"	後閑 文昌	2,000	39.	7.11	芳尾 明	5,000
13.	"	杉沼 誠	2,000	40.	"	菅野 秀俊	3,000
14.	"	高橋 博美	2,000	41.	"	谷田部 光則	3,000
15.	"	垂石 守	2,000	42.	"	金居 俊郎	2,000
16.	"	角木 しのぶ	2,000	43.	7.13	山崎 雅昭	3,000
17.	"	坪田 真由美	2,000	44.	"	荒井 千文	3,000
18.	"	兔沢 無二夫	2,000	45.	"	島崎 康行	3,000
19.	"	中村 恭子	2,000	46.	"	平野 文世	3,000
20.	"	西本 直子	2,000	47.	"	安藤 泰行	4,000
21.	"	久野 京子	2,000	48.	"	小田 武子	2,000
22.	"	森 俊子	2,000	49.	"	武田 和子	4,000
23.	"	山崎 常雄	2,000	50.	"	山本 恭子	2,000
24.	"	山本 富士子	2,000	51.	"	西原 由美子	3,000
25.	"	吉野 とづえ	2,000	52.	7.14	山村 英子	3,000
26.	"	渡辺 嘉三	2,000	53.	"	高橋 知子	2,000
27.	6.14	堀田 淳二	5,000	54.	7.16	渡辺 和子	2,000

№	月日	氏名	金額	№	月日	氏名	金額
55.	54. 7.16	金子正史	5,000	86.	54. 8. 2	橋口幸弘	2,000
56.	"	松山禎一	2,000	87.	8. 3	相原和明	3,000
57.	"	松田明	3,000	88.	"	武本好文	3,000
58.	"	佐藤悦子	2,000	89.	8. 4	畠山繁博	2,000
59.	7.18	小玉幸子	2,000	90.	8. 6	岡本みどり	3,000
60.	"	浅田泰男	4,000	91.	8. 8	伊谷正一	3,000
61.	"	望月敏正	3,000	92.	"	加藤英夫	2,000
62.	"	松本竣一	2,000	93.	"	鈴木智加子	2,000
63.	7.19	朝倉康雄	3,000	94.	8. 9	栗原良孝	2,000
64.	7.20	会田充男	4,000	95.	"	赤上もと子	3,000
65.	7.21	高田信興	10,000	96.	8.10	鈴木正雄	2,000
66.	"	船木政明	4,000	97.	8.11	慶田盛定	2,000
67.	"	原弘吉	3,000	98.	8.13	保坂弘一	5,000
68.	7.23	青木久実	2,000	99.	"	増山光男	3,000
69.	"	境保則	2,000	100.	"	山本光子	4,000
70.	7.26	工藤昌二	3,000	101.	8.14	白土弘士	2,000
71.	"	中谷秀明	3,000	102.	8.15	吉野こずえ	2,000
72.	"	平田芳和	2,000	103.	"	山本好隆	3,000
73.	7.27	田野哲	5,000	104.	8.18	石塚弘子	2,000
74.	"	松本恭子	4,000	105.	8.20	川野耕二	2,000
75.	"	常木節子	10,000	106.	8.24	中村秀二	2,000
76.	"	過足重六	3,000	107.	8.25	田中清子	3,000
77.	7.28	大津卓也	2,000	108.	"	内田俊子	2,000
78.	7.30	伊藤勇	4,000	109.	"	辻誌朗	3,000
79.	"	宇野正信	3,000	110.	8.27	石丸洋	3,000
80.	"	森山理	3,000	111.	"	田島清貴	4,000
81.	8. 1	楠谷宗敬	3,000	112.	8.29	梶信昭	4,000
82.	"	菅原明雄	3,000	113.	"	中島元	8,000
83.	"	春山文子	5,000	114.	8.30	山田晴一	2,000
84.	"	中島孝	4,000	115.	9. 3	富松由三子	2,000
85.	"	椎名昇	3,000	116.	9. 5	桃井明男	4,000

№	月日	氏名	金額	№	月日	氏名	金額
117.	54. 9. 5	佐藤 啓	2,000	148.	54. 9. 24	小川 美弥子	2,000
118.	"	齊藤 敬一	3,000	149.	"	山内 悟	4,000
119.	9. 7	宇津 豊	3,000	150.	"	梶山 広司	2,000
120.	9. 8	松井 登美枝	2,000	151.	"	村上 吉正	3,000
121.	9. 12	金子 洋平	5,000	152.	"	山口 次男	5,000
122.	9. 14	小松 武雄	5,000	153.	"	佐藤 之俊	2,000
123.	"	米田 賢一	5,000	154.	9. 25	長谷川 金松	2,000
124.	"	椎名 厚	2,000	155.	"	石井 悦夫	3,000
125.	9. 15	三原 加津子	2,000	156.	"	福田 竹子	5,000
126.	9. 17	河原 正昭	4,000	157.	9. 29	岡田 洋二	2,000
127.	"	前田 千賀志	4,000	158.	"	佐藤 勲	4,000
128.	9. 18	長野 郁代	2,000	159.	10. 1	小貫 孝春	2,000
129.	9. 19	佐藤 久恵	3,000	160.	"	安田 和明	4,000
130.	"	松岡 範孝	3,000	161.	10. 2	板谷 盛靖	2,000
131.	9. 20	山本 厚子	2,000	162.	"	平川 文雄	5,000
132.	"	杉村 久子	2,000	163.	"	寺元 良人	4,000
133.	"	中川 鈴俊	2,000	164.	10. 3	八木 久美子	3,000
134.	"	高波 司雄	4,000	165.	10. 4	塚田 和茂	3,000
135.	"	中島 節子	2,000	166.	"	常井 晴道	4,000
136.	"	山崎 忠男	3,000	167.	"	平山 隆	3,000
137.	"	木村 多喜	5,000	168.	10. 5	青木 文次	3,000
138.	"	網島 路正	3,000	169.	10. 6	石毛 誠	3,000
139.	"	西村 久美子	2,000	170.	"	庄司 忠男	3,000
140.	"	梅崎 捷也	4,000	171.	10. 8	高橋 和秀	2,000
141.	"	波多野 伸	5,000	172.	"	錦井 利臣	2,000
142.	9. 21	上野 剛	5,000	173.	10. 12	宮本 恵美子	3,000
143.	"	武本 好文	10,000	174.	10. 18	堀田 敏明	4,000
144.	9. 24	鴨下 哲夫	3,000	175.	"	吉村 博	3,000
145.	"	大塚 文夫	3,000	176.	10. 25	影山 真一	4,000
146.	"	森田 博	3,000	177.	10. 31	鶴見 興人	4,000
147.	"	梅本文子	3,000	178.	"	菊地 君男	5,000

№	月日	氏名	金額	№	月日	氏名	金額
179.	54.10.31	岩 沢 稔	4,000	189.	54.11.18	箱 根 修	4,000
180.	"	鈴 木 光 雄	3,000	190.	"	外 山 宜 男	6,000
181.	11. 8	早 田 卓 次	5,000	191.	12. 2	高 田 信 興	10,000
182.	11. 9	近 藤 盛 一	4,000	192.	12.28	酒 井 博 行	3,000
183.	11.13	酒 井 清	2,000	193.	55. 1.25	小 俣 里知子	10,000
184.	11.14	千 野 良 一	4,000	194.	2. 3	西 野 晴 久	2,000
185.	11.15	前 野 冷 子	3,000	195.	2.26	朝 倉 和 幸	2,000
186.	11.18	池 田 智 美	5,000	196.	3.13	葛 井 克 政	3,000
187.	"	小 林 敏 彦	2,000	197.	3.18	岡 本 公 子	4,000
188.	"	藤 井 昭 生	2,000	198.	"	徳 永 富 夫	10,000

昭和54年度 事業及び行事報告

1. 会報の発行

第16号 54. 6

2. 競技会出場

第12回 社会人大会(横須賀)

第33回 全日本選手権大会(八王子)

3. 親睦会等の開催

(1) 総会懇親会兼インカレ祝勝会

54. 11. 18 原宿 57名

(2) 忘年会

第16回 54. 12. 1 ~ 2

箱根・湯本 23名

(3) 幹事会

54. 6. 14 54. 10. 2

(4) その他各大会地における懇親会

○宮崎国体懇親会報告

S.39 体育学科卒 田中常雄

期日 昭和54年10月15日

時間 7時より

場所 宮崎市大淀河畔「宮崎グランドホテル」

出席者

門脇春男, 遠藤幸雄, 藤谷弘一,
米田賢一, 大坪哲夫, 海谷美代子, 刃込和男,
大和孝三, 近藤盛一, 橋口泰武, 船木政明,
山内 悟, 宇野正信, 高橋正典, 徳永富夫,
中谷秀明, 中村栄喜, 山口次男, 青木文次,
木下咲夫, 田中章二, 中島松子, 林富久寿,
川野耕二, 椎名 厚, 佐藤之俊, 千田修平,
境 保則, 萩原美和子, 慶田盛定, 後閑文昌,
田中常雄

○昭和54年忘年会

期日 昭和54年12月1日～2日

場所 箱根湯本「静観荘」

参加者

稲橋, 石井, 平川, 芳尾, 上野, 菊地,
高田, 小栗, 山中, 鶴見, 岩沢, 岩田,
林, 朝倉, 箱根, 原, 塚田, 外山,
中島, 寺元, 前山, 黒崎, 渡辺

昭和55年度 桜 樹 会 予 算

(昭・55・5・29 幹事会決定)

収入の部		支出の部	
繰越金	417,223	事業費	400,000
会費	600,000	補助費	150,000
寄付金	50,000	会議費	50,000
雑収入	0	通信・印刷費	200,000
合計	1,067,223	事務費	10,000
		雑費	10,000
		予備費	247,223
		繰越金	0
		合計	1,067,223

昭和55年度 体 操 部 役 員

部 長	浜田靖一	主 将	国井信行	高橋亜子
副部長	門脇春男	副 将	安富 寿	河合三枝子
監 督	遠藤幸雄	主 務	岡島耕一	渡辺幸子
コ ー チ	早田卓次	学 連	紫沼篤博	楢野智恵美
	木村多喜	男子コ ー チ	藤井幸信	
	梶山広司			

昭和55年度 体操部新入部員

〔男子〕

氏 名	出身県	出身高校
小野田博之	岡山	洛南高
遠藤 幸一	東京	土浦日大高
檜 一幸	京都	洛南高
加藤 安則	茨城	土浦日大高
桑原 透	福島	日大東北高
佐々木藤雄	秋田	秋田工業高
堀 正道	兵庫	清風高
渡辺 光昭	東京	保善高

〔女子〕

氏 名	出身県	出身高校
田中 千春	埼玉	武生高
猪野木明美	茨城	二階堂高
小笠原りか	秋田	和洋女子高
佐藤久美子	三重	暁高
田嶋しのぶ	東京	国学院高
長沢 和子	静岡	日大三島高

昭和55年度 体操部年間予定

3. 3~10	男子合宿 (文理)
11~17	女子合宿 (朝日生命体育館)
19~22	モスクワ二次予選 (代々木第二体育館)
26~4. 6	リガ・モスコ ー大会
4. 1~7	男子合宿 (文理)
12~14	T B S杯 (協会創立50周年記念行事)
28	新入生歓迎会 (菊谷会館)
5. 2~4	NH K杯 (モスクワ最終予選)(福井)
6. 13~15	東日本インカレ (駒沢)
8. 2~6	インターハイ (松山)
16~19	全中大会 (大垣)
20~24	全日本インカレ (岩見沢)
25~26	全日本ジュニア
9. 6~7	社会人大会 (知多)
10. 10~17	国体 (栃木市)
中旬	関東新人戦
20~30	ワールドカップ (カナダ)
11. 19~25	全日本兼世界選手権予選
28~30	中日カップ
12. 1~4	中日カップ国際選抜

桜樹會員一種審判取得者名簿

昭和55年5月現在

〔男子〕

〔女子〕

卒業期	氏名	書替年月	講習年月	55年 3月 講習 受講	都道府県	卒業期	氏名	取得し 九年
3	藤谷 弘一	53. 1	52. 12	○	北海道	4	木村 多喜	44年
"	三田 久	54. 4	/		秋田	7	海谷 美代子	41
4	上野 剛	53. 1	52. 12		東京	"	二岡 真美子	49
"	早田 卓次	53. 1	52. 12		"	8	林 恵子	52
5	小栗 郁郎	51. 1	48. 12	○	"	9	伊藤 寛美	46
"	金子 洋平	53. 1	53. 3		山梨	10	津村 多賀子	47
7	佐藤 勲	54. 1	52. 12	○	福島	12	菊地 多美子	51
"	荻 込 和男	54. 1	52. 12	○	茨城	"	田中 清子	47
8	橋口 泰武	53. 1	/	○	千葉	13	奥田 早苗	52
"	伊藤 勇	53. 1	52. 12	○	神奈川	"	西原 由美子	51
"	小柴 守夫	53. 1	52. 12	○	兵庫	"	八木 久美子	55
"	近藤 盛一	53. 1	/	○	鳥取	15	中島 松子	51
10	津村 二郎	54. 1	52. 12	○	東京	"	山崎 信恵	52
"	近藤 明	54. 1	52. 12	○	"	16	杉村 久子	51
"	門脇 隆	50. 1	50. 10		"	"	渡辺 和子	52
"	渡部 宣裕	54. 1	52. 12	○	埼玉	"	西野 晴久 (女子一種)	55
"	宇津 豊	53. 3	53. 3	○	島根			
11	宇野 正信	54. 1	52. 12	○	山形	17	宮本 敏子	52
"	大塚 文雄	53. 1	/	○	千葉			
13	石井 悦夫	53. 1	/	○	神奈川			
14	青木 文次	53. 1	52. 12	○	福島			
15	林 富久寿	53. 1	/	○	茨城			
"	住 広 晃	53. 1	/	○	福井			

会員名簿 訂正・追加

1979年版会員名簿を次の通り訂正または追加してご利用下さい。

第2回

岩本忠喜

(勤) 岩本工業経営 (電) 0489-64-4535

平川文雄

(自・電) 04805-8-0134

第4回

菊地君男

(住) 270-14 千葉県印旛郡白井町清水口

3-27-3

(電) 0474-91-3668

高田信興

(自・電) 045-314-3604

高橋房雄

(自・電) 01878-4-2704

第5回

小栗郁郎

(住) 187 東京都小平市花小金井5-545

小松武雄

(住) 新座市新座北野2-7-8→新座市北野

2-7-8

第6回

大坪哲夫

(勤) (株) メイクンスポーツ

(電) 093-571-8978

(住) 803 北九州市小倉北区清水3-9-1

メイクンスポーツ気付

第7回

海谷美代子

(住) 小川荘10号室→8号室

中原 剛

(勤) (株) メイクンスポーツ

(電) 093-571-8978

(住) 803 北九州市小倉北区堅林町11-15

梶川アパート102号

(電) 093-571-8972

八戸 昭

(住) 354 富士見市西みずほ台1-14-32

前田千賀志

(住) 873 大分県杵築市南台東教員住宅

諸岡嘉春

(住) 493 一宮市北方町中島東松本43-18

第8回

常木節子

(勤) 県立熊谷西高校 (電) 0485-32-8881

林 恵子

(勤) 川越商業高校

第9回

伊藤寛美

(勤) 相原体操クラブ (電) 0273-52-4111

井上 靖

(住) 670 姫路市土山薬王寺前438-1

ビラ土山503号

(電) 0792-96-3038

早川尚夫

(自・電) 0422-53-4134

靱山芳雄

(勤) 県立由利高校

(住) 015 本荘市出戸町字御門町257-2

森 重樹

(住) 八幡西区田町2丁目7-22

第10回

千野良一

(住) 173 東京都板橋区小茂根

2-14-5-405

(電) 03-956-5802

津村二郎, 多賀子

(住) 215 川崎市多摩区高石1377-3

(電) 044-955-0326

堀田敏明

(住) 855 長崎県島原市城見町3920

島原工高職員住宅7号

(電) 09576-3-5680

渡部宣裕

(住) 344 春日部市大字増富243-118

(電) 0487-61-2265

第11回

印宮 亨

(住) 164 東京都中野区上高田2-51-2

(電) 03-386-6895

桑島祥子

(住) 削除

第12回

相原和明

(勤・電) 03-422-5331

(住) 250-01 小田原市栢山1062

(電) 0465-36-7216

朝倉康雄

(住) 362 上尾市緑丘3-2-26

上尾グリーンハイツB-405

(電) 0487-73-6394

梶 信昭

(勤) 神戸市飛松中学校 (電) 078-731-9494

(住) 655 神戸市垂水区日向町2-3-20

(電) 078-709-8956

田中清子

(勤) 和歌山県教育庁保健体育課

(住) 和歌山市粟22-8→粟228

三上一将

(住) 削除

森山 理

(住) 村松町新道→新道乙311

谷 誠二

(勤) 佐野水産(有) (電) 03-681-5638

(住) 136 東京都江東区亀戸2-25-4

(電) 03-681-5638

第13回

石毛 誠

(住) 287 佐原市福田131

菅野秀俊

(住) 〒182 → 〒201, 東野川3-173

狛江ハイタウン906号 → 東野川3-

17狛江ハイタウン3-906号

斉藤敬一

(勤) 相模原市立清新中学校

(電) 0427-54-9443

辻 誌朗

(勤) 辻電機工業所 (電) 01855-2-7363

(住)016 能代市字田子向73-22

(電) 01855-4-7287

八木久美子

(住) 〒145 → 〒146

山口次男

(住)876 大分県佐伯市中川区中の島アパート 1-B

増山光男

(勤) 自営 (電) 0268-34-6528

(住) 320 宇都宮市西1丁目3-1

(電) 0268-34-6528

(出身高) 作新学院

吉村 博

(住)639-21 奈良県北葛城郡当麻町南今市 174

(電) 074548-2316

(出身高) 市立高田商高

石丸 洋

(勤) 倉敷市立南中学校

(住)710 倉敷市酒津2690-1

(電) 0864-22-7264

(出身高) 市立塔南高

第14回

青木余志子

(氏名) 余志子→芳子

(勤) 須賀川市立第3中学校

(電) 02487-5-2910

赤嶺芳弘

(住) 削除

久保英雄

(住) 削除

中島 孝

(住)281 千葉市稲毛東3-6-6

(電) 0472-41-5952

森田 博

(勤) 庄和すずらん幼稚園

(電) 0487-46-7381

山崎雅昭

(住)332 川口市大字芝1034

第15回

大木米男

(勤) 削除

(住) 削除

菅原明雄

(勤) 大館市立第1中学校

(電) 0186-42-3089

(住)017 大館市釈迦内字街道上112-2

雇用促進住宅2-503

(電) 0186-48-6390

竹下万亀

(住) 削除

土屋史郎

(勤) 削除

中島松子

(住) 第14回中島 孝と同じ

山崎信恵

(住) 第14回山崎雅昭と同じ

第16回

川野耕二

(勤) 日鐵企業(株)大分営業所

(電) 0975-51-4582

(住)870-01 大分市明野元町N4-35

(電) 0975-56-5146

木下栄治

(住) 削除

河野和弘

(住) 削除

小玉幸子

(住) 273 船橋市若松 2-5-10-202

(電) 0474-32-9392

佐々木武雄

(住) 削除

杉村久子

(勤) 削除

鈴木良之

(住) 削除

寺元良人

(住) 削除

錦井利臣, 房美

(住) 213 川崎市高津区有馬 2-8-27-204号

西野晴久

(勤) 削除

(住) 363 桶川市上日出谷 4 2 - 7 桶川教職員

住宅 3 0 2 号

(電) 0487-86-5660

西巻洋一

(住) 削除

馬場裕二

(氏名) 裕二 → 祐二

(勤) (財) 熊本勤労総合福祉健康センター

(住) 出水町 5-2-11 → 出水町 5-11-2

渡辺和子

(勤) 名和町立光徳小学校

(電) 085954-2276

第 17 回

五十嵐仁一

(住) 削除

市川晴久

(住) 削除

岡田洋二

(勤) 神戸市立西灘小学校

(電) 078-861-8851

酒井 清

(住) 305 茨城県新治郡桜村栗原 1 5 4 7

下田良子

(姓) 西野

(勤) 削除

(住) 第16回西野晴久に同じ

鈴木一弘

(勤) (住) 削除

丹野優子

(住) 削除

千葉 勉

(勤) (住) 削除

中島節子

(住) 156 東京都世田谷区赤堤 4-31-9

カツラ荘 3号室

長谷川金松

(住) 春日町 1-39-16 → 春日町 2-7-5

芝荘

寛山秀成

(住) 削除

前山真一郎

(勤) 大和銀行事務部 (電) 03-272-2193

松山禎一

(住) 869-32 熊本県宇土郡三角町大字三角浦
1352-23

山宮登美枝

(姓) 松井

(住) 174 東京都板橋区南常盤台2-17-11

アパートメントホリエ7号室

(電) 03-974-6080

山本恭子

(勤) 削除

(住) 八万田町柿谷89 → 八万町柿谷89

第18回

内田民雄

(住) 削除

齊藤知子

(姓) 高橋

(住) 351 朝霞市岡3-10-13

(電) 0484-61-4099

佐藤之俊

(勤) 富沢学園本部 (電) 0236-45-0135

(住) 990 山形市薬師町2-16-24

(電) 0236-32-2350

鈴木正雄

(勤) 竜ヶ崎市立八原小学校

(電) 02976-2-0533

(住) 301 茨城県竜ヶ崎市寺後3610-1

(電) 02976-4-0870

千田修平

(住) 削除

富松由三子

(住) 537 大阪府東成区中本1丁目7-25

坂元文化3F

(電) 06-975-0470

(出身高) 県立和歌山北高

平田芳和

(勤) 市立西須磨小学校

(電) 078-731-0295

山本厚子

(住) 上野原町鶴島998-1

第19回

朝倉和幸

(住) 173 東京都板橋区仲町21-8 コーポ・

マスダ102号

大木真利子

(勤) ヤクルト化粧品東京販売(株)

(住) 156 東京都世田谷区赤堤4-16-9

安念荘6号

佐藤 啓

(住) 日照寺アパート→H-2

中村秀二

(勤・電) 0423-45-2391

(住) 188 田無市南町1-11-11 山梨荘

(電) 0424-67-1643

島山繁博

(住) 010 秋田市東通館ノ越9-10

水田靖夫

(勤) 削除

(住) 157 東京都世田谷区砧8-7-12

佐藤悦子

(住) 削除

今井久美子

(住) 157 東京都世田谷区岡本3-20-1

藤井昭生

(住) 187 小平市花小金井1-762第一山川荘

第20回

朝奈昭夫

(姓) 朝比奈

(住) 683 米子市勝田町297

(電) 0859-33-4848

内田俊子

(姓) 増子

(勤) 埴町立埴中学校

(電) 02474-3-0287

(住) 979-54 福島県東白川郡埴町字大町

3-34

(電) 02474-3-2057

加藤博章

(住) 247 横浜市戸塚区桂町22-2

神奈川県警察学校学生寮内

慶田盛定

(住) 431-02 浜松市篠原町21796河合楽

器篠原寮

後閑文昌

(住) 370 高崎市筑縄町637-5

杉沼 誠

(勤) 秋田アスレチッククラブ

(電) 0188-64-0381

(住) 011 秋田市土崎港北4-5-34

(電) 0188-45-5001

高橋博美

(勤) 秋田アスレチッククラブ

(電) 0188-64-0381

(住) 010-14 秋田市大住2-3-3

(電) 0188-35-0536

角木しのぶ

(姓) 坪井

(勤) 塩原女子高校

(住) 657 神戸市灘区五毛通4-2-10

第一五毛ビル201号

(電) 078-801-9793

中村恭子

(勤) 京都府警察本部交通部

(電) 075-451-9111

(住) 615 京都市西京区桂芝ノ下町3-1

桂寮

(電) 075-391-9888

森 俊子

(勤) 高岡市立芳野中学校

(電) 0766-23-0718

(住) 939-03 富山県射水郡小杉町三ヶ1352

(電) 07665-5-0710

山本富士子

(勤) 東大阪市長瀬北小学校

(電) 06-729-0676

(住) 570 大阪府守口市金田町1-200

(電) 06-901-5957

吉野こずえ

(勤) 相原体操クラブ (電) 0273-52-4111

第21回 (昭和55年3月卒)

鮎合

磯部育子

(勤) 名城大学薬学部 (電) 052-832-1336

(住) 500 岐阜市錦町3-12

(電) 0582-51-4395

(出身高) 中京商高

市丸

岩井

遠藤

大村

小島

柏谷錦一

日大文理聴講生

(住)156 東京都世田谷区赤堤5-15-1

ユアサハウス203号

(電) 03-324-1389

酒田 隆

(住)017 大館市釈迦内字釈迦内161

(電) 0186-48-6055

(出身高) 県立大館鳳鳴高

三本松

鹿野

白井律子

(住)240 横浜市保土ヶ谷区天王町1-20-2

(電) 045-331-2100

(出身高) 二階堂高

関

高見

田中康義

(勤) 県立仙台第三高校 (電)0222-51-1246

(住)985 宮城県多賀城市留ヶ谷1-3-2

(電) 02236-6-3427

(出身高) 県立仙台第三高

鶴 鈴子

(勤) 糸島農業高校 (電) 09202-2-2654

(住)819-11 福岡県糸島郡前原町大字前原

1571-4-6号

(出身高) 九州女子高

中村

西川裕二

(勤) 日産観光サービス (電) 03-476-2386

(住)154 東京都世田谷区世田谷1-13-14

大場方

(電) 03-420-2829

(出身校) 県立大多喜高

西沢真理子

(勤) ヒットユニオン (株)

(電) 0778-23-2222

(住)915 武生市国府3-10-3

ヒットユニオン寮内

(電) 0778-22-2403

(出身高) 県立武生高

浜野

原田

平田倫敏

(勤) 大和銀行虎ノ門支店 (電) 03-502-3751

(住)102 東京都千代田区富士見2-14-37

大和銀行富士見寮

(電) 03-261-0428

(出身高) 清風高

松下

松永二郎

(勤) 朝日生命体操教室

(住)156 東京都世田谷区赤堤5-26-3

さつき荘5号

(電) 03-325-9383

(出身高) 駒場学園高

水島克己

(勤) Sunrise Gymnastics Academy

(電) 419-885-4744

(住) Yusaku Hijioka

4153 Jackman Rd.

Toledo, Ohio 43612 U.S.A

(電) 419-476-1120

(出身高) 清風高

本池浩次

(勤) 県立米子西高校

(住) 683-01 米子市大篠津町1730

(電) 0859-28-6148

(出身高) 米子北高

矢木幹男

(住) 156 東京都世田谷区赤堤4-23-6

山下

山脇恭二

(勤) 大和銀行 (電) 03-272-2193

(住) 102 東京都千代田区富士見2-14-37

大和銀行富士見寮内

(電) 03-261-0428

※姓だけの方はまだ入会申込書が返送されてきていません。ご存知の方はお知らせ下さい。

会費納入について

会費は同封の振替用紙をご利用のうえ納入して下さい。納入金額は次の通りです。

第1回卒 ~ 第6回卒	5,000円
第7回卒 ~ 第11回卒	4,000円
第12回卒 ~ 第16回卒	3,000円
第17回卒 ~ 第21回卒	2,000円

日本体操界を考へて

第10回卒 人 見 省 吾 (スペイン在任)

卒業してはじめて桜樹会報にお便りします。

私は、日大を卒業してすぐにスペインに体操コーチとしてやってきました。以来10年8ヶ月の外国生活になりました。その間、あちこちの国際試合に参加し、またヨーロッパの体操界をいろいろな角度からみてきました。そこで今回は、日本の体操関係者の方とは違った観点から、これからの日本体操界がどういう手をうたなければならないかということについて考へてみたいと思います。皆様に読んでいただければ幸いに存じます。

日本の体操は下降しているのか、それともソ連をはじめヨーロッパ、アメリカの力が上昇しているのか。

正直いって日本体操界が苦しい時期にきていることは疑えませんが、今の時点で3~5個もメダルを取ることは不可能と思われる。

それはどこに原因があるのでしょうか。

(1) 日本のナショナルチームの平均年齢は一般に高いといえます。このことはいつも外人から聞かれることです。

日本の体操は学校の制度(今ではクラブもあるようですが)に直接関係していると思います。中学生から始めても、高校、大学と進まなければならない、しかもその度に1年生は充分に練習もできないような状態があると思

います。これは日本にしかないシステムだといえます。しかし、私は、自分の経験がとても素晴らしいことだと思っていますし、私の教えている選手達にもよく話して聞かせます。いつまでも続いてほしいことだと思ひます。

とにかく、そんな経験をしてレギュラーの道を目ざすわけですから時間もかかります。日本では、体操競技で一人前になるには、最低10年はかかるといわれます。だから、大学生(18~22才)がオリンピック選手に選ばれば、エリート中のエリートといえるのではないのでしょうか。しかし、ヨーロッパなどでは、16才位で代表に選ばれています。もちろん一流国です。

例えば、私がある共産国の国際試合に参加した時のことです、朝食のあと、ブラブラ練習場に出かけてみると、そこでは10~20才位の青少年が練習していました。昼近くまで練習し、昼食をとり帰る時も彼らはまだ練習していました。午後、2度目の練習に行きますと彼らもすぐやって来ました。夕方近く練習を終え、宿へ帰ろうとする頃、彼らも、仕事が終わったというような感じで迎へるバスに乗り込むところでした。ところで、この青少年達は、いつ学校に行くのでしょうか、いつ働くのでしょうか。そうです、日本でいう英才教育なのです。日本で英才教育を受けるには大変な費用がかかるでしょう。共産国は一般に貧しい国ですから、すべて

国が保障しているのである。これが共産国の強さに関係があることは誰にでもわかります。

(ロ) ヨーロッパでは試合が数多く行われているからか。

公式な試合には日本も参加しますが、ヨーロッパではその他数多くの対抗試合が行なわれています。われわれのチームでも、年間8~10回も、対抗試合や招待試合に出かけます。スペインの場合、一部リーグ全員で7名しかいませんので、毎回同じメンバーがこれだけの試合を消化していかなければなりません。ソ連、東ドイツなど、その度に新人を参加させ、各国に名を売ると同時に、審判にも顔を覚えさせるチャンスにします。ヨーロッパは、世界の約80%の国際審判員がいるのですから、日本には相当なハンディになると思います。

(ハ) 監督・コーチが日本より上手なのか。

これは大きな問題でしょう。日本以外のコーチはそれが仕事(プロ)なのです。私自身その立場にあるわけですが、日本に専門プロが何人いるでしょうか。高校・大学でコーチしている先生方は学校の教員であって、体操に関していえば全くの奉仕ということになります。熱心な先生方のお陰で今の日本体操界があるわけですが、これで良いのでしょうか。

これとはまた別に、日本では役員・監督に選ばれて国際試合に出かける場合、負担金を払っていると新聞で読んだことがあります。本当なのでしょうか。

体操の指導を奉仕、家庭を犠牲にして、国あるいは協会の代表として出かけるのに自己負担金まで払う。こんな馬鹿な話はないと思

います。私の所ですら、公式大会の都度、スーツ、ユニホーム、クツ(革クツと運動シューズ)、滞在中の散歩用(普段着)としてGパンか短パン、ワイシャツ、セーターetc、……下着以外のものはほとんど支給されます。ですから、大会ごとに衣裳もちになっていきます。これがヨーロッパでは当然のことなのです。

指導に対する熱意も違ってくると思うのですが……。

以上、こまかいことですが大体のところまとめてみました。皆様はご存知だったでしょうか。

ところで、これ以上に重要なことが政治力の問題だと思います。体操競技は野球のようにホームランを打って勝敗が決まるスポーツではありません。人間が、審判員が採点するのですから、かなりあいまいな面があります。しかもこの採点に政治の力が加ったらどうなるでしょう。

ここ2~3年の日本体操を考えてみると、国際大会で大いに観客を湧かせながら非常に厳しい得点しか出ないように思うのです。これが私のいいたい政治の力です。実力プラス政治力がなければ勝てない時代になってきたといえないのでしょうか。まだまだ実力のある日本なのですから、もっともっと数多くの優秀な役員を送ってほしいと思います。

まだまだ書きたいことがいっぱいあるのですが、これ以上まとまりのない文章になると、結局何が言いたいのか自分自身にもわからなくなってきそうですのでこの辺でペンを置くことにします。

最後に、「体操日本」といっても、やがてどんなにしても勝てなくなる日がくるかもしれません。桜樹会・日大体操部のみなさん、世界に

目を向けて大いにがんばって下さい。ご活躍をお祈りしております。

1980. 8. 2 マドリードにて

モスクワオリンピックに参加して

人 見 省 吾

今回、スペインの監督としてモスクワに行くことができました。大会には、ブラジルから大原君も監督として来ていました。日本のボイコットで寂しいわれわれでしたが、彼と2人でモスクワ大会の体操をじっくり見てきましたので、ここに報告したいと思います。

ところで、大原君は1名、私は3名の選手を連れて参加したのですが、全く歯が立ちませんでした。まだまだ世界のレベルに追いつけないわれわれですが、精一杯がんばっています。

さて、今回は、日本、アメリカ、中国と、強力チームの不参加で、全体のレベルは低下したというものの、ソ連、東ドイツは素晴らしいメンバーでした。アンドリアノフはソ連のキャプテンとして健在でした。彼の実績は書くまでもないでしょうが、ベテランとはいえ積極的に新技に挑んでいました。跳馬では、山下跳び2回宙1回ひねりを練習していました。(但し、試合では3分間の練習中、2回宙³/₄ひねりで落下したのでトライせず)とにかく相変わらず試合では強いところをみせていました。

ディティアティンは今最高にのっている選手

といえます。178cmのダイナミックで力強い演技は素晴らしいものでした。得意のつり輪は、最初からフィニッシュまで伸腕、着地もびたり決めました。その他の種目でもまるで機械のような正確さでほとんどミスもなく、正真正銘世界チャンピオンの演技でした。

カチエフは、技術的には彼の右に出る者がいないほどの技術屋である。ゆかなど3回もダブル宙(スワンダブル宙、ダブル宙1回ひねり、ダブル宙フィニッシュ)を決めたのは彼だけでした。惜しくも鉄棒で失敗し、そのあと少しシュンとしたところがありましたが、総合4位は立派でした。

アザリアンは、今回どこか痛めていたのか、ストラスブルグで見せたような父ゆづりの、あの力強いつり輪は見ることはできませんでした。マルケロフ、マクツツなどとともにこれからのソ連の主演として活躍しそうです。

ソ連チームについては、日本も常に研究していることで私とがとやかく書くことはないと思いますが、現在の日本(私が最後に見たのはテキサスの世界選手権ですが)と比べてみると、ソ

連は日本の弱点（少なくとも私にはそう思えました）である着地をうまく研究していたようです。今回、練習場でたまたま一緒にいることができましたが、彼らの練習内容も他の国と特に差はありませんが、着地の練習と補強運動には十分な時間をかけていました。正直いって日本は着地がヘタだと思います。ソ連はピタリ、ピタリと決めていました。これも練習量だと思います。日本でも一考すべきことではないでしょうか。

さて、体操では毎大会新技が出てきますが、今回はキューバが新しい技を見せてくれました。今流行の鉄棒の片手車輪からギンガーを成功させました。彼らの話を聞くと、つり輪でもギンガーを取入れているとのことでした。持換えはできるそうですが、そのあとどうしてもブレがでて、まだ公式には使えないそうですが、必ず成功させると張り切っていました。つり輪にまで離れ技が出てくるのもそう遠いことでもなさそうです。

一方女子の方ですが、私はあまり詳しいことはわからないのですが特に印象に残ったことを書いてみます。

優勝したソ連選手は、ゆかのコンビネーションで、ロンダード flic-flac からスワン1回半宙返りよりすぐ前宙とか、あるいはドイツ選手のように男子同様、1回ひねりダブル宙や3回ひねりなど軽々と成功させていました。平均台では、前宙半ひねり、段違い平行棒では、男子の鉄棒並で、主体はほん転倒立からの車輪、あるいはダブル宙おりなどが目立ちました。

以上が、今回のオリンピックで目についたことですが、このような技術の変化よりももっと驚ろかされたのが採点法の変わり方でした。ソ連が完全に主導権を握っており、共産国の審判員の間には一種のチーム・ワークさえ感じられるほどでした。日本は今や孤立国では、とさえ思えてくるのです。あまり強くは非難できませんが、日本が以前のように勝ち続けていくのは大変困難なことに思えたのは事実です。

日本の不参加で寂しいオリンピックではありましたが、私にはとてもよい勉強の機会でした。

編 集 後 記

会報発行がこの時期まで遅れてしまったのは、
かってなかったことである。転居などという一
身上の理由もあったのであるが、何かと雑用が
ふえてくる年令になってきたようでもある。い
ずれにしてもお詫びしなければならない。

住所変更とか、新入会員のこととか、決算報
告など、どうしても連絡しなければならない内
容だけを取りあげ、どうにか原稿をまとめて印
刷に廻した。その後、校正の段階で、スペイン
の人見君から原稿が届いた。急拠これをつけ加
えることにする。従って、一度書いた編集後記
をボツにして今これを書いているわけである。

人見君、大原君のモスクワでの活躍ぶりは、
日本の新聞でも紹介されたので読んだ方も多
いだろう。ただ残念だったのは日体大出身とされ
ていたことだ。

日本が参加できなかったオリンピックの報告
は貴重である。ヨーロッパに根を下しての10年、
拍手を送りたい。

1980. 8. 20 菊地